

学校の取組 (結城市立結城南中学校)

分類	①
見出し	日課表の工夫
取組内容	・日課表を見直し、下校時刻を早めることで放課後の事務処理時間確保を図った。
導入の効果	・特に月曜日は5時間授業のため、事務処理時間が十分に確保でき、教職員の退勤時間が早まった。 ・部活動終了時刻も早まることで、放課後の時間に余裕ができ、退勤時間が早まった。
課題・対応	・従来のように朝の活動に時間をかけることが難しい。そのため、朝の会や帰りの会の意義について、全職員で共通理解を図り、工夫を試みている。 ・教職員も生徒も時間厳守を意識した行動が必要となる。生徒会を中心に「ノーチャイム」を実施するなど主体的な取組を進めている。
留意点	・生徒の時間厳守に対する意識を高めるためには、教職員の率先垂範が不可欠である。 ・月曜日など下校時刻がより早い日は、いつも以上に効率的に業務をこなし、生徒の時間厳守に対する意識を高めるためには、教職員の率先垂範が不可欠である。 ・月曜日など下校時刻が他曜日より早い日は、いつも以上に効率的に業務をこなし、定時退勤できるように会議・研修等の企画・運営を進める。定時退勤できるように会議・研修等の企画・運営を進める。